

あなたはこのミステリーを信じますか？（キリストの墓の謎）

新約聖書において、イエスキリストが十字架の刑に処されたとされるゴルゴダの岡は、エルサレムに存在する。

しかし、この日本の、しかも青森県のある小さな村にも、キリストの墓が存在しているというのだ。

その場所は、八戸から十和田湖に向けて国道454号を走った、小高い丘の上にある。右側にはイエスキリストの、そして左側には弟のイスキリの物とされる墓がある。

説明文によると、イエスキリストは21歳で来日し、神学修行を重ね、33歳の時にユダヤに戻って布教を行ったが受け入れられず、十字架の刑の処されそうになるが、弟のイスキリが身代わりとなって死に、キリストはシベリアを経由して日本に戻り現在の新郷村（戸来村）で106歳までの長い生涯を送ったというのだ。その村で、キリストは十来太郎大天空（とらいたろうだいてんくう）と名前を変え、ひっそりと妻と3人の娘と暮らしていたのだという。

通常で考えたら、この日本のキリストの墓の話は作り話である。

また、この墓から車で15分ほど走ったところには「大石神ピラミッド」という巨石群が存在する。なんと、このピラミッド、5万年前からこの地に存在するとも言われている。

謎のピラミッドと、キリストの墓。謎だらけの新郷村。

あなたは、これらをどう思いますか？

日本最大の謎、と言っても過言ではないかもしれません。